

# 第1回 病態分子薬理学セミナー



中央研究院 生物化学研究所(台湾)  
主任研究員



Institute of Biological Chemistry, Academia Sinica  
Principle Investigator



孟子青 博士  
Dr. Tzu-Ching Meng

日時：平成27年11月17日(火)  
17:00~18:00

場所：徳島文理大学 24号館10階 病態分子薬理学研究室 教授室

—演題—

“**終わりがなき、そして果てなき道のり**”

リン酸化チロシン脱リン酸化酵素を標的とする創薬

♪ “**The Looooong and Winding Road~♪**”  
Toward Rationale-based Design of Drugs targeting  
Protein Tyrosine Phosphatases

Meng博士は、細胞機能に重要なシグナル伝達であるチロシン残基のリン酸化・脱リン酸化機構の研究者です。特に、リン酸化チロシン脱リン酸化酵素(Protein Tyrosine Phosphatase:PTP)の酸化ストレスによる活性制御のメカニズムや、その糖尿病などの病態形成における意義に関する研究領域を牽引しています。

今回のセミナーでは、リン酸化・脱リン酸化機構の概略と酸化ストレスによるPTP活性制御の意義を初め、最新の研究内容を含めてご研究を紹介させていただきます。

皆様のご来聴をお待ちしております。 なお、講演は英語で行われます。